

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	一人一人の思いや要望を改めて把握し理解する。	信頼関係を築く。	<ul style="list-style-type: none"> 入浴時など一対一での会話を通じて、利用者の思いを知り、要望に応えられるよう職員同士が情報を共有する。 一日の過ごし方を知り、その方のペースに合わせた支援を行う。 	6ヶ月
2	40	食べる量、栄養のバランス、水分量など一人一人の状態に合わせた対応をする必要がある。	一人一人の利用者に合わせた対応。	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の方の食事量の調節を行う。 嚥下に障害がある方には、お粥・刻み・トロミで対応し、食事中は状態を観察し安全に努める。 水分摂取の声掛け・医師へ状態を報告し栄養摂取の対応を検討する。 	6ヶ月
3	33	日頃から、急変や事故発生時の備えをしておく必要がある。	体調の変化の早期発見・事故発生防止。	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザやノロウイルスが流行する前から施設で対策を実行する。(手洗い・うがい・消毒の徹底) 職員同士の申し送りを詳しくわかりやすく行う。 職員の体調管理を行い、施設に菌を持ち込ませない。 	6ヶ月
4	13	職員の指導・育成に努める。	ケアの統一を行い、充実したサービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 研修等に参加し、介護に必要な技術を身につける。 わからないことは、スタッフ同士で話し合い解決していく。 スタッフ同士が協力し合い、ケアの統一を図る。 	6ヶ月
5	34	どのような災害が起きても落ち着いて行動する必要がある。	どのような状態でも冷静かつ迅速に行動できる。	<ul style="list-style-type: none"> 災害による停電・断水に備え備品を準備しておく。 防災用具の点検を定期的に行う。 避難訓練の実施や非常経路の把握に努める。 緊急時のシミュレーションを訓練時に実践する。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・忙しい時や話が上手く伝わらない時など、口調が強くなってしまふことがある。	一人一人のプライバシーを確保し、安心して過ごすことが出来る。	・職員一人一人が言葉遣いに気をつけ、注意し合える関係作りを行う。 ・個々のプライバシーが確保されるよう、介助の際は特に気をつける。 ・定期的に言葉かけや対応について見直す機会を設ける。	6ヶ月
2	37	・利用者のペースに合わせられず、業務優先になってしまうことがある。 ・利用者の方の細かな要望が把握出来ていないことがある。	個々に合わせた生活習慣を把握し、支援する。	・一人一人の動きやペースに合わせたケアを行う。 ・本人の生活歴を見直し、要望に沿った支援を行う。	6ヶ月
3	21	・きまった利用者の方だけが交流されていることがある。 ・利用者の方で、自分から他者に関わろうとすることが少ない。	利用者同士を認め合いながら生活できるようにする。	・職員が利用者の中に入り、橋渡しを行う。 ・皆が主役になれる時間や機会を作る。 ・レクリエーションなどを通じて、交流を図る。	6ヶ月
4	18	・尿意や便意が低下されてきており、失禁される方が増えてきている。 ・トイレに行かれない方が増えてきている。	自立した排泄に向けて支援する。	・排泄パターンを把握し、トイレの声掛けを行う。 ・こまめにトイレ誘導し、排泄の失敗を減らす。	6ヶ月
5	27	・細かい状況や本人の様子が詳しく記録されていないこともある。	後で記録を見返した際に、振り返ることができる記録を行う。	・本人の様子をよく観察し、忘れずに記録に残すようにする。 ・追加の記録があれば、その都度記入する習慣をつける。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	<利用者同士の関係の支援> 利用者同士の関わりがうまくいかず孤立している方も見られる。	利用者同士が関わり合い、支え合える関係をつくる。	利用者同士の関係を見守りながら、関わりを持っていない利用者に対しては職員が間に入り、コミュニケーションをとっていく。	6ヶ月
2	19	<本人を共に支え合う家族との関係> 家族によっては協力を得られない場合もある。	利用者との家族の絆を深め、本人を支えていく関係を築く。	日頃から家族に本人の状態報告をまめに行い、協力を得られるよう努める。	6ヶ月
3	27	<個別の記録と実践への反映> 個別記録をもとに話し合いをし、実践するがスムーズにいかないこともある。	個別記録をもとに情報を共有し、有効的な実践に繋げる。	個別記録に詳しく記入し、それをもとに十分話し合い実践していく。	6ヶ月
4	34	<災害対策> 地震や水害の対応について不安がある。	あらゆる災害にスムーズに対応出来るように訓練する。	定期的な訓練を行うとともに、災害時の対応についてシュミレーションし行動する。	6ヶ月
5	13	<職員を育てる取り組み> 学習会への参加はしているが、法人外での研修参加が少ない。	職員のレベルにあった研修に参加しスキルアップにつなげる。	学習会で学んだことを復習しつつ、法人外での研修にも参加していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	余暇活動時間を使用し、活動的に過ごすことが少ない。	外出や季節のイベントの回数を増やし、利用者の笑顔を引き出していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントをシフト作成時より予定を立案し実行する。 ・天気の良い日は、散歩やテラスにてお茶会を行い、気分転換を図る。 	6ヶ月
2	26	認知症のレベルの低下が著しく、意思疎通をとることが困難な方に対しての心身状態の把握が不足している。	利用者の状態を把握し、他職種間との報告・連絡・相談を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の言動や表情をよく観察し、普段と違う変化が見られた場合、すぐ医師等に相談し早期発見・早期治療に努める。また、介護記録へ詳しく記入し、情報の共有を図る。 	6ヶ月
3	40	季節感のある食事メニューや食事を楽しむ取り組みが少ない。	旬の物を取り入れ一人一人が食べやすく、好みを活かしたメニューを考え提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物を聞き取り、季節の物・旬の物を把握し希望メニューに取り入れる。 ・個人合わせた食事形態で提供し、しっかり栄養を摂っていただく。 	6ヶ月
4	33	急変時や事故発生時の対応に不安がある。	急変時や事故発生時に安全かつ迅速に対応が出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会を通じて、知識と技術を学ぶ。 ・事故を未然に防げるようにヒヤリハットを活用する。 	6ヶ月
5	6	離設防止のため、鍵をかけることがある。	施錠する時間を短くする。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の行動を観察し把握するとともに、チャイムが鳴った際は必ず確認を行う。 ・施錠時は施錠中の札をかけ周知徹底に取り組む。 ・外出する機会を増やし、気分転換を図り、ストレス軽減に努める。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	利用者に役割をもっていただき、活動を通じて喜びを見つけてもらえるように取り組みたい。	利用者一人一人に合った役割を見つけ、楽しみや気分転換が出来るよう対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活歴や本人の話から出来ることを探り、活動に取り入れる。 ・利用者に楽しんでいただけるよう企画力を高め、実施する。 	6ヶ月
2	27	介護記録や支援経過の記録内容に記入抜けがないように取り組みたい。	本人の状態変化や気付いたことの記録内容が抜けることなく、わかりやすく記録する。	<ul style="list-style-type: none"> ・誰が見ても理解出来る文章で、わかりやすく記録する。 ・何かあった時にはメモを残し、記録する際に活用する。 ・職員間で随時報告し合い、情報を共有する。 	6ヶ月
3	35	普段からの言葉遣いや声かけの仕方に気をつけ、利用者の自尊心を傷つけないように努めたい。	相手を尊重した言葉遣いができ、利用者のペースに合わせた対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のペースを把握・理解し、落ち着いて行動・対応する。 ・誰が聞いても気持ちよい言葉を使用し、一人一人に合わせた声かけを行う。 	6ヶ月
4	19	ご家族の思いをきちんと受け止められるように関係作りを大切にしたい。	利用者をご家族と共に、支援していけるような協力体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ声かけを行い、利用者の状態等の報告をこまめに行う。 ・ご家族が話やすい環境・雰囲気作りに努める。 ・ご家族の話をしっかり傾聴する。 	6ヶ月
5	34	災害時、冷静に対応できるようスキルを身につけたい。	災害時、安全・迅速に対応が出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練に参加し、状況に応じた避難経路や避難方法の把握に努める。 ・防災用具の場所を日頃から把握しておき、協力体制を再認識する。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事や水分摂取量にバラつきのある利用者がいるため、一人一人に合った食事の提供が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスの良い食事を摂ってもらう。 ・一日を通じて必要な水分量を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に合った食事形態(ミキサー食や刻み食)、食事量を提供する。 ・本人の嗜好を把握・提供しバランスの良い食事が摂れるようにする。 	6ヶ月
2	21	新しい利用者もおり、特定の利用者とししか関わりの持てない方もいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士が支え合え、談話が弾む環境作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う利用者と会話が弾むよう同じテーブルに配置する。 ・難聴の利用者も会話に入れるように職員が橋渡しを行う。 ・馴染みの関係を築けるよう支援する。 	6ヶ月
3	33	急変時や事故発生時に冷静に落ち着いた行動がとれるか不安である。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の変化を観察し、早期対応が出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の気付きを職員間で情報を共有し、事故防止に繋げる。 ・早期受診を行い、医師に報告・相談を行う。 ・各自学習会に参加し、急変時の対応・連絡体制の再確認を行う。 	6ヶ月
4	34	災害が起きた時、落ち着いた行動をとる必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、職員全員が落ち着いた行動がとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用具の定期的な確認を行う。 ・防災訓練や避難訓練を通じて、対応の把握・避難経路の確認を行う。 	6ヶ月
5	48	利用者により買い物などに行く回数に偏りが見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩なども行い、気分転換・ストレス解消を図ると共に意欲の低下防止に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別外出や散歩などを行い、外の空気に触れ季節感を感じていただく。 ・家族の協力も得て、外出できるよう支援する。 ・室外での行事を企画する。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。